

回									
覧									

# 全国瞬時警報システムの訓練放送実施について

全国瞬時警報システム(以下「J-ALERT」)とは、弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を人工衛星及び地上回線を用いて国(内閣官房・気象庁から消防庁を経由)から送信し、市防災行政無線等を自動起動することにより、夜間や休日等庁舎に職員が不在の場合でも、国から直接市民の皆様へ緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

緊急時における市民の皆様への迅速かつ確実な情報伝達に資するよう、J-ALERTの自動起動訓練を11月12日(水)に実施いたします。

市民の皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

※防災ラジオとの連携配信も実施します。

※具体的な避難行動については裏面のチラシをご覧ください。

## 記

- 放送日 令和7年11月12日(水)
- 放送時間 午前11時00分頃
- 対象地域 中津市全域

### 【全国瞬時警報システムの訓練放送内容】

これは、Jアラートのテストです。×3回  
こちらは中津市です。

【問合せ先】  
防災危機管理課

22-1113  
(内線:271、272)

# 弾道ミサイル 飛来時の行動について



## 国民保護に関する情報

ミサイル発射、ミサイル発射、ミサイルが発射されたものとみられます。建物の中、又は地下に避難して下さい。

対象地域：  
〇〇県

0300 8 50 00 00 00 50 50 50 50

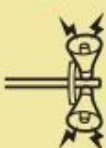
弾道ミサイルは、発射から  
わずか10分もしないうちに  
到達する可能性があります。



弾道ミサイルが着弾した場合、激しい  
爆風や破片などにより、身体へ大きな  
被害を受ける可能性があります。



弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、  
アラートを通じて屋外スピーカーや携帯電話の緊急  
速報メール等によりメッセージを流します。



### メッセージが流れたら直ちに以下の行動をとってください



弾道ミサイルが上空を通過した場合など避難行動をとる必要がなくなった場合は、避難の呼びかけを解除します。



爆風や破片などを避ける

近くの建物の中  
または地下へ

緊急一時避難施設※をはじめ、  
コンクリート造り等の頑丈な建物  
や地下街、地下駅舎等の地下施設  
へ避難することが望ましいですが、  
それ以外でも構いません。



近くに建物がない場合は

物陰に身を隠す  
または  
地面に伏せ  
頭部を守る



その場で安全を確保し

窓から離れる  
または  
窓がない部屋へ



爆風で割れた  
窓ガラスなどを避ける

詳しくは、内閣官房国民保護ポータルサイトへ

国民保護

検索



※緊急一時避難施設：弾道ミサイル攻撃による爆風等からの直接の被害を軽減するための一時的な避難に活用する観点から都道府県知事等が指定する施設。